

# 講演 『大腸がんについてくわしく知ろう』 ～がん検診を活用しよう～

●日時：平成28年10月21日(金) 14:00～15:30 ●会場：恵庭市民会館2階大会議室

講師 えにわ内科・消化器内科クリニック 院長 千坂 賢次 先生

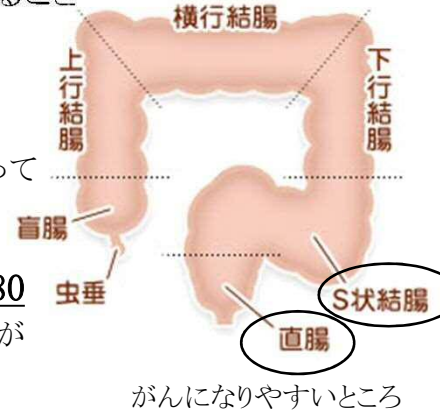


## 大腸ポリープや大腸がんを発見するのに大切なことは？

- 自分で普段の便の状態を観察すること  
便が細くなったり、下痢と便秘の繰り返しなど、いつもと違う便の状態を早めに見つけること。
- 健康診断やがん検診で便を調べてみる

### 健康診断やがん検診の便潜血検査とは...？

- 大腸から出血した微量の血液が便に混ざっているかを調べる検査。
- 通常2日間便をとって調べます。
- 2日とって調べると、**大腸進行がんの約80～90%、早期がんの約50%**を調べることができるといわれています。



## 大腸がんにかかる割合は、40歳代から増加します。



↑ 早期大腸がん ↓ ポリープ

- ・大腸がんにかかる割合は加齢に伴い高くなります。
- ・大腸がんにかかる率、死亡率はともに**男性は女性の2倍**です。

大腸がんはポリープができることから始まります。ポリープからがんになるまで進行の遅いがんです。ポリープから5年程度でがんになるものもあります。

画像提供：えにわ内科・消化器内科クリニック 千坂医師

## 大腸がんになりやすい人の特徴

- ・50歳以上
- ・家族に大腸がんになった人がいる
- ・肉をよく食べる(特に、保存加工肉)
- ・肥満である
- ・運動不足
- ・お酒をよく飲む
- ・タバコをよく吸う



野菜の摂取は、定期的な運動とともに大腸がんの発生リスクを抑えます。

私は痔があるから...  
だから陽性が出たんだと思うわ。



陽性だからといって、必ずしもがんやポリープがある訳ではありませんが、早く見つけて早く治療に移ることが大切です。

**自分で判断せず、必ず消化器内科専門医にかかるようにしましょう**



がんの中で、大腸がんの患者数は、男女全体で2番目、男性は3番目、女性は1番多い状況です！  
(2014年)

## 便潜血検査は一番負担の少ない検査です。

**大腸がん検診を年に1回受けましょう。**異常がなくても、定期的に検診を受け、早期発見・早期治療を心がけましょう。また、要精密検査と言われたら、内視鏡検査を受けましょう。